

平成26年2月28日 実証実験結果報告会発表資料

名称	株式会社 CQ-Sネット				
設立	平成21年	資本金	10百万	従業員数	5名
代表者	齋藤 光正	TEL	045-402-1943	FAX	045-402-1943
連絡担当	齋藤 光正 saito@cq-snet.com				
所在地	〒221-0064 神奈川県横浜市神奈川区鳥越 7-8				
会社HP	http://www.cq-snet.com				
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子制御機器のソフトウェア開発及び販売 2. 在宅看護支援ネットワークシステムの開発、販売及び運用 3. 管理医療機器の販売及び賃貸業 4. e-learningシステムの開発及び販売 5. イベント、講演会の収録及びコンテンツ配信並びに販売 				
特徴・セールスポイント	<p>一人暮らしをそっと見守る レーダーシステム： (株) CQ-Sネットは、世界初となる「レーダーライト」を開発いたしました。 レーダーライトとは、LED照明器具の中に組み込まれた新開発のレーダ技術を活用した安心見守りシステムです。トイレ、風呂、廊下、ベッド周辺での転倒検出、転落検出、容態急変を検出して無線でネットワークを経由して通報を行い 地域の医療、看護、介護施設と連携して一人暮らしの方々の見守りシステムを構成します。</p>				

1. 実験の目的 (ねらい)

豊かさを追い求め、高度成長の道を走り抜け、辿り着いた先には、NHKで報道され大きな反響を呼んだ無縁社会がその姿を見せ始めています。人間関係が希薄になった今 共助、互助が機能しなくなる社会。「個」と言う自由感に浸る中で、高齢化や健康が損なわれる時、個室が孤室となり 戸建が孤建てになる危険が潜んでいます。健康な時は当たり前の空間が、健康を害した瞬間から恐怖のデッドスポットとなりうるトイレ、風呂場、居室。レーダーライトは、一人暮らしの方を24時間連続してそっと見守ってくれます。今回は、製品化へ向けて開発した「レーダーライト」の性能評価(離床、転倒、無呼吸検出)、を行い レーダー技術を活用する事で状態の把握が可能である事の実証実験を行いました。

実証実験の様子(神奈川県ホームページより)



神奈川県産業技術センター(海老名市)



転落



呼吸異状



転倒



不在



端座位



転倒



就寝中



座位

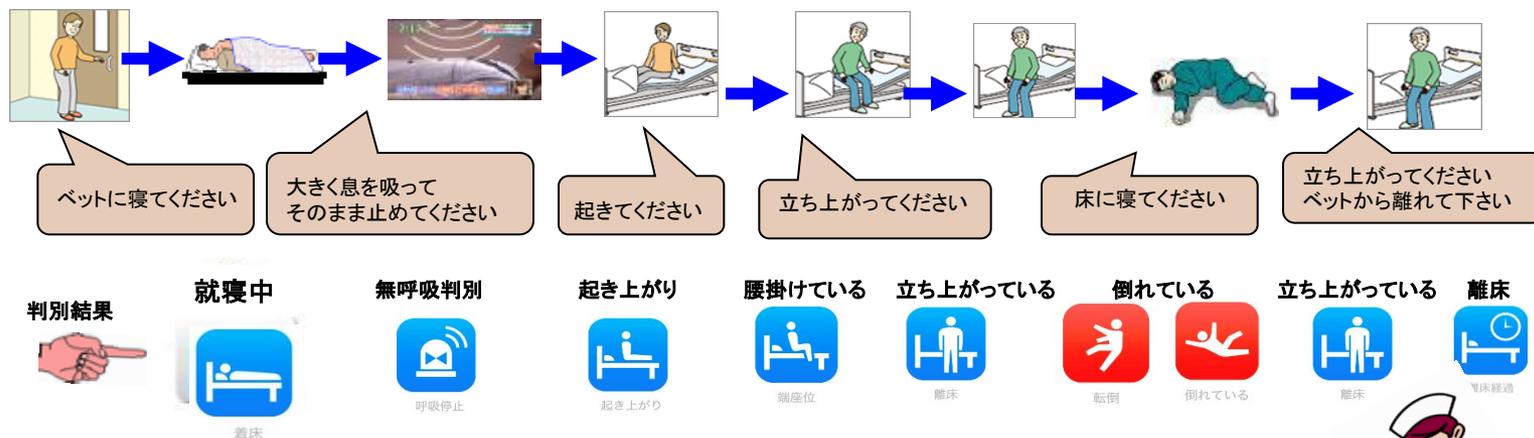


離床



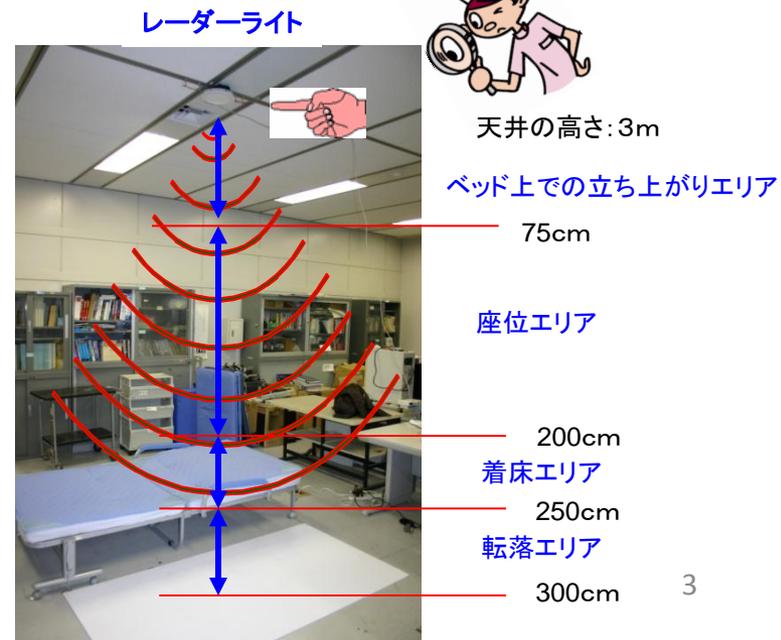
2. 実証実験

(1) 実施概要



(2) 結果

神奈川県産業技術センター
老人介護施設 ユーミーケアにて
合計35名の方に参加して頂きました。
20歳代:4人、30歳代:5人、40歳代:13人、50歳代:6人
70歳代:2人、80歳代:4人、90歳代:1人
21項目の検証を実施
15項目は、誤動作率 0%を達成しました。
横向き、ずり落ちなどの検出は、今後へ向けての
課題となりました。



3. 今後について

①更なる実証実験の実施と商品化

②誤検出の低減、的確なアルゴリズムの開発

⑥在宅介護 地域連携ケアシステムなどの活動に参画

